

令和8年度から指定管理者制度を導入する施設の
中間評価

中野市指定管理者選定委員会

中野市子育て支援拠点施設(HUBLIC)の中間評価調書	……………P1
中野市営野球場ほか 14 施設の中間評価調書	……………P3
中野市まちなか交流の家の中間評価調書	……………P9
中野市観光会館・日本土人形資料館の中間評価調書	……………P11

指定管理者事業評価 中間評価調書

1 施設状況・事業収支

施設名称	中野市子育て支援拠点施設(HUBLIC)		調書作成年度	令和7年度		
指定管理者	合同会社WIP		所管部課	子ども部 子育て課		
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)		利用料金	指定管理料+利用料金制		
施設設置目的	子育て支援に関する基盤形成を推進し、子育て支援の充実を図るため。					
施設の概要	子育て支援センター、子育てサポートエリア、一時預かり室、多目的運動施設、屋外運動場、駐車場、自主事業施設、その他の施設					
主な実施事業	管理運営事業、施設の維持管理及び設備等の保守管理、地域子育て支援拠点事業、一時預かり室、子育てサポートエリア管理運営業務及び自主事業に関する業務					
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和5年度	令和6年度		
	利用者数(人)		41,663	38,813		
委託料	指定管理料		30,000,000	31,700,000		
市収入額 (使用料等)	年度	収入	年度	収入	支出	収支
	令和5年度	0	令和5年度	30,677,400	32,638,327	△ 1,960,927
	令和6年度	0	令和6年度	33,259,800	30,697,692	2,562,108
	(単位:円)		(単位:円)			

2 年度評価

評価区分	評価内容	令和5年度		令和6年度		判定	得点	判定	得点
		判定	得点	判定	得点				
(1)市民の視点【50点】	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10		5					
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7		10					
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	7	38	7	34				
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	7		7					
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	7		5					
(2)財務の視点【25点】	① 計画どおり収入が得られたか。	2		5					
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	2		5					
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3	12	4	22				
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	2		4					
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3		4					
(3)業務の視点【45点】	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3		4					
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3		3					
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	2		3					
	④ デジタル化への対応を行ったか。	5		4					
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	2	27	4	32				
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3		3					
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3		4					
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3		3					
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3		4					
(4)人材の視点【20点】	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3		3					
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	12	4	14				
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3		4					
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3		3					
総合得点(年度【140点満点】)		89		102					

3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	令和5年度	・自主事業費の収入増 ・管理経費と自主事業費の区分の明確化 ・施設周辺の管理(景観整備)
	令和6年度	

4 中間評価及び所見

評価基準による中間評価	年度	年度評価点	施設所管課長 所見
	令和5年度	89	指定管理事業により運営し3年目となるが、初年度の目新しさは落ち着きを見せ、利用者数は当初に比べ減少も、子育て家庭の遊び場として定着し、毎月2,000~3,000人程度の利用が継続している。リピーターや休日のお出かけ場所として父親が連れてくるケースも多く見られ、職員の距離が近すぎず、見守る人がいる安心感で過ごすことができる。天候を気にすることなく公園のように利用でき祖父母にも喜ばれている。利用者同士の交流や学びあいがながら子育てが楽しめる場所となるよう、職員も研鑽を重ねている。より一層、サークルリーダーズ(各種団体等)の登録や活動などへの支援、カフェや農産物販売など更なる賑わいの創出、利用者が気持ちよく過ごせるよう景観づくりにも努めていただきたい。
	令和6年度	102	
平均点	96		

☆評価基準

中間評価	評価基準
S 極めて優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が120点以上
A 優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が110点~119点
B+ 良好	全ての年度評価の獲得点数の平均が100点~109点
B 要一部改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が80点~99点
B- 要改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が70点~79点
C 不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が60点~69点
D 極めて不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が59点以下

5 選定委員会による中間評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。

中間評価	B	委員会所見	施設所管課長所見のとおり
------	----------	-------	--------------

指定管理者事業評価 中間評価調書

1 施設状況・事業収支

施設名称	中野市営野球場ほか14施設		調書作成年度	令和7年度			
指定管理者	中野市体育協会		所管部課	くらしと文化 文化スポーツ振興課			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)		利用料金	指定管理料			
施設設置目的	市民体育の向上を図るため。						
施設の概要	中野市営野球場: 競技面積12,200㎡、中野市営運動場: 競技面積 9,545㎡、中野市民体育館: 鉄筋コンクリート造2階建 競技面積1,728㎡、中野市武道館: 柔道場14m×13m 剣道場14m×23m、中野市営テニスコート8面、中野市弓道場: 建築面積 523㎡、中野市篠井川河川敷運動広場: 競技面積4,500㎡、中野市コミュニティスポーツセンター: アリーナ・多目的ルーム・トレーニングルーム、中野市屋内運動場: 建築面積 820.88㎡、中野市営豊田テニスコート: 競技面積2,280㎡、中野市営豊田野球場: 競技面積15,220㎡、中野市営豊田マレットゴルフ場: 競技面積1,800㎡、中野市永田社会体育運動場: 競技面積 4,008㎡、中野市B&G海洋センター: 鉄筋コンクリート2階建 競技面積 1,453㎡、中野市北公園: 公園面積7ha						
主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	利用者数(人)		97,904	106,009	123,373	130,257	
	利用回数(回)		6,152	7,263	7,841	9,092	
	利用料金(円)		6,635,675	8,249,940	10,152,100	9,700,154	
委託料	指定管理料		56,496,000	56,430,000	56,430,000	60,268,301	
市収入額 (使用料等) (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支 (単位:円)	年度	収入	支出	収支
	令和3年度	6,635,675		令和3年度	61,589,905	56,936,063	4,653,842
	令和4年度	8,249,940		令和4年度	63,520,824	59,030,410	4,490,414
	令和5年度	10,152,100		令和5年度	61,864,789	59,866,811	1,997,978
	令和6年度	9,700,154		令和6年度	68,544,816	61,099,137	7,445,679

2 年度評価

評価区分	評価内容	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		判定	得点	判定	得点	判定	得点	判定	得点
(1)市民の視点【50点】	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。								
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。								
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。		26.1		23.7		24.7		24.9
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。								
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。								
(2)財務の視点【25点】	① 計画どおり収入が得られたか。								
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。								
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。		15.0		15.7		14.3		12.8
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。								
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。								
(3)業務の視点【45点】	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。								
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。								
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。								
	④ デジタル化への対応を行ったか。								
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。		27.0		28.9		27.8		28.0
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。								
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。								
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。								
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。								
(4)人材の視点【20点】	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。								
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。								
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。		12.0		12.0		12.0		12.0
	④ 労働関係法令を遵守したか。								
総合得点(年度【140点満点】)		80.1		80.3		78.8		77.7	

詳細は別紙のとおり

3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	令和3年度	・なし
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は新型コロナウイルス感染症の流行前と同程度に回復すると思われる。 ・自主事業が少ないので、積極的に取り組んでいきたい。 ・設置目的に合致した自主事業が少ない。 ・利用者が減少傾向にある施設は、積極的に取り組んでいただきたい。
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度比で大幅な減となっている施設については、要因を究明のうえ利用者増加に努めていただきたい。 ・継続の自主事業のほか、新たに弓道初心者指導教室及びSUP教室を実施されたことは評価できるが、未実施の施設が7施設あるため、実施に努めていただきたい。 ・前年度比で大幅な減となっている施設については、要因を究明のうえ収入増加に努めていただきたい。 ・各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうため積極的な広報に努めていただきたい。 ・紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど回答者の利便性にも配慮していただきたい。
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業が未実施の施設が見受けられることから、利用者ニーズを把握のうえ、実施に努めていただきたい。 ・R5と比較し、施設利用者数は5.6%増、施設使用回数が16%増であるものの、施設利用料金の収入が4.5%減である。自主事業の展開が難しいのであれば、事務の効率化や人員の見直し等による増収に努めていただきたい。 ・各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうための取組み等を行いたい。 ・適正な備品の管理に努めていただきたい。 ・紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど、回答者への利便性にも配慮していただきたい。

4 中間評価及び所見

評価基準による中間評価	年度	年度評価点	施設所管課長 所見
	令和3年度	80.1	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の維持管理が業務との認識が強く、自主事業については消極的である。 ・改善指導状況についても、再三、試みるが改善しようとする姿勢は見られない。 ・過日、施設利用者から、「電話受付の対応がよくない」との意見を聞いた。相手に寄り添った対応をお願いしたい。
	令和4年度	80.3	
	令和5年度	78.8	
	令和6年度	77.7	
	平均点	79.2	

☆評価基準

中間評価	評価基準
S 極めて優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が120点以上
A 優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が110点～119点
B+ 良好	全ての年度評価の獲得点数の平均が100点～109点
B 要一部改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が80点～99点
B- 要改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が70点～79点
C 不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が60点～69点
D 極めて不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が59点以下

5 選定委員会による中間評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。

中間評価	B-	委員会所見	施設所管課長所見のとおり
------	-----------	-------	--------------

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和3年度実績	令和2年度実績	2-3比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	97,904	82,524	118.6%	
	市営野球場	13,180	9,674	136.2%	
	市営運動場	9,012	6,007	150.0%	
	市民体育館	14,192	16,780	84.6%	
	市武道場	5,426	4,888	111.0%	
	市営テニスコム	17,024	10,474	162.5%	
	市弓道場	1,594	1,305	122.1%	
	市篠井川河川敷運動場	1,197	1,371	87.3%	
	市コミュニティスポーツセンター	17,238	11,673	147.7%	
	市屋内運動場	4,102	5,395	76.0%	
	市営豊田テニスコム	277	547	50.6%	
	市営豊田野球場	5,497	4,532	121.3%	
	市営豊田マレットゴルフ場	345	525	65.7%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	8,820	9,353	94.3%	
北公園	—	—	0.0%		
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)	6,635,775	6,524,160	101.7%	
	市営野球場	1,418,800	1,174,000	120.9%	
	市営運動場	646,250	307,800	210.0%	
	市民体育館	585,450	696,100	84.1%	
	市武道場	286,430	325,120	88.1%	
	市営テニスコム	1,144,650	1,473,550	77.7%	
	市弓道場	101,680	121,370	83.8%	
	市篠井川河川敷運動場	0	0	0.0%	
	市コミュニティスポーツセンター	1,102,460	1,266,465	87.1%	
	市屋内運動場	418,010	417,315	100.2%	
	市営豊田テニスコム	81,570	167,740	48.6%	
	市営豊田野球場	132,000	62,400	211.5%	
	市営豊田マレットゴルフ場	200	4,700	4.3%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	718,275	507,600	141.5%	
北公園	—	—	0.0%		

2 事業の実施状況

評価区分	評価内容	市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道場	市営テニスコム	市弓道場	市篠井川河川敷運動場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニスコム	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター	北公園	得点
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10	10	2	7	10	10	2	10	2	2	10	2	5	5	5	26.1
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	15.0
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和4年度実績	令和3年度実績	3-4比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	106,009	97,904	108.3%	
	市営野球場	13,613	13,180	103.3%	
	市営運動場	10,941	9,012	121.4%	
	市民体育館	20,474	14,192	144.3%	
	市武道場	6,080	5,426	112.1%	
	市営テニスコート	11,193	17,024	65.7%	
	市弓道場	1,682	1,594	105.5%	
	市篠井川河川敷運動場	1,026	1,197	85.7%	
	市コミュニティスポーツセンター	21,171	17,238	122.8%	
	市屋内運動場	5,343	4,102	130.3%	
	市営豊田テニスコート	252	277	91.0%	
	市営豊田野球場	6,205	5,497	112.9%	
	市営豊田マレットゴルフ場	242	345	70.1%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	7,787	8,820	88.3%	
北公園	—	—	0.0%		
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)	8,249,940	6,635,775	124.3%	
	市営野球場	1,840,965	1,418,800	129.8%	
	市営運動場	846,600	646,250	131.0%	
	市民体育館	836,000	585,450	142.8%	
	市武道場	492,500	286,430	171.9%	
	市営テニスコート	1,475,720	1,144,650	128.9%	
	市弓道場	175,900	101,680	173.0%	
	市篠井川河川敷運動場	5,720	0	0.0%	
	市コミュニティスポーツセンター	1,293,565	1,102,460	117.3%	
	市屋内運動場	614,570	418,010	147.0%	
	市営豊田テニスコート	71,250	81,570	87.3%	
	市営豊田野球場	1,600	132,000	1.2%	
	市営豊田マレットゴルフ場	600	200	300.0%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	594,950	718,275	82.8%	
北公園	—	—	0.0%		

2 事業の実施状況

評価区分	評価内容	市営野球場															北公園	得点
		市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道場	市営テニスコート	市弓道場	市篠井川河川敷運動場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニスコート	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター			
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	5	10	10	7	5	10	2	10	10	5	7	2	5	2	5	23.7	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5	2	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	5	5	5	5	5	5	3	4	5	2	1	3	3	2	3	15.7	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	28.9	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和5年度実績	令和4年度実績	4-5比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	123,373	106,009	116.4%	
	市営野球場	16,600	13,613	121.9%	
	市営運動場	10,582	10,941	96.7%	
	市民体育館	28,312	20,474	138.3%	
	市武道場	10,846	6,080	178.4%	
	市営テニスコート	11,266	11,193	100.7%	
	市弓道場	2,668	1,682	158.6%	
	市篠井川河川敷運動場	40	1,026	3.9%	
	市コミュニティスポーツセンター	21,003	21,171	99.2%	
	市屋内運動場	6,532	5,343	122.3%	
	市営豊田テニスコート	159	252	63.1%	
	市営豊田野球場	6,038	6,205	97.3%	
	市営豊田マレットゴルフ場	181	242	74.8%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	9,146	7,787	117.5%	
北公園	—	—	0.0%		
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)	10,152,100	8,249,940	123.1%	
	市営野球場	1,991,105	1,840,965	108.2%	
	市営運動場	834,750	846,600	98.6%	
	市民体育館	1,516,170	836,000	181.4%	
	市武道場	587,260	492,500	119.2%	
	市営テニスコート	1,642,660	1,475,720	111.3%	
	市弓道場	133,020	175,900	75.6%	
	市篠井川河川敷運動場	1,870	5,720	32.7%	
	市コミュニティスポーツセンター	2,072,250	1,293,565	160.2%	
	市屋内運動場	411,410	614,570	66.9%	
	市営豊田テニスコート	41,580	71,250	58.4%	
	市営豊田野球場	112,800	1,600	7050.0%	
	市営豊田マレットゴルフ場	1,000	600	166.7%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
	市B&G海洋センター	806,225	594,950	135.5%	
北公園	—	—	0.0%		

2 事業の実施状況

評価区分	評価内容	市営野球場														北公園	得点
		市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道場	市営テニスコート	市弓道場	市篠井川河川敷運動場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニスコート	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター		
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10	5	10	10	5	10	5	5	10	1	5	2	5	7	5	24.7
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	5	1	5	1	5	7	5	1	5	1	1	1	5	7	1	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	3	3	5	3	3	1	3	3	1	1	5	5	3	5	3	14.3
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2	3	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27.8
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和6年度実績	令和5年度実績	5-6比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	130,257	123,373	105.6%	
	市営野球場	15,989	16,600	96.3%	
	市営運動場	14,361	10,582	135.7%	
	市民体育館	26,073	28,312	92.1%	
	市武道場	10,262	10,846	94.6%	
	市営テニスコム	11,912	11,266	105.7%	
	市弓道場	3,041	2,668	114.0%	
	市篠井川河川敷運動場	377	40	942.5%	
	市コミュニティスポーツセンター	23,392	21,003	111.4%	
	市屋内運動場	6,980	6,532	106.9%	
	市営豊田テニスコム	145	159	91.2%	
	市営豊田野球場	6,864	6,038	113.7%	
	市営豊田マレットゴルフ場	246	181	135.9%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
市B&G海洋センター	10,615	9,146	116.1%		
北公園	—	—	0.0%		
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)	9,700,154	10,152,100	95.5%	
	市営野球場	1,882,125	1,991,105	94.5%	
	市営運動場	806,400	834,750	96.6%	
	市民体育館	1,196,465	1,516,170	78.9%	
	市武道場	634,820	587,260	108.1%	
	市営テニスコム	1,540,660	1,642,660	93.8%	
	市弓道場	126,575	133,020	95.2%	
	市篠井川河川敷運動場	1,760	1,870	94.1%	
	市コミュニティスポーツセンター	1,962,435	2,072,250	94.7%	
	市屋内運動場	618,900	411,410	150.4%	
	市営豊田テニスコム	48,300	41,580	116.2%	
	市営豊田野球場	104,700	112,800	92.8%	
	市営豊田マレットゴルフ場	3,750	1,000	375.0%	
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%	
市B&G海洋センター	773,264	806,225	95.9%		
北公園	—	—	0.0%		

2 事業の実施状況

評価区分	評価内容	市営野球場 市営運動場 市民体育館 市武道場 市営テニスコム 市弓道場 市篠井川河川敷運動場 市コミュニティスポーツセンター 市屋内運動場 市営豊田テニスコム 市営豊田野球場 市営豊田マレットゴルフ場 市永田社会体育運動場 市B&G海洋センター 北公園														得点	
		市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道場	市営テニスコム	市弓道場	市篠井川河川敷運動場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニスコム	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター		北公園
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	5	10	5	5	5	7	10	7	5	5	7	10	5	7	5	24.9
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	5	1	5	1	5	7	5	1	5	1	1	1	5	7	1	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	2	2	2	3	2	2	3	2	4	4	2	4	3	2	3	12.8
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	3	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	28.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

指定管理者事業評価 中間評価調書

1 施設状況・事業収支

施設名称	中野市まちなか交流の家		調書作成年度	令和7年度			
指定管理者	なつちよ合同会社		所管部課	経済部 商工観光課			
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)		利用料金	指定管理料			
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため。						
施設の概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和6年度				
	来館者数(人)		2,015				
	絵付け体験者数(人)		951				
委託料	指定管理料		10,447,000				
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
	令和6年度	0		令和6年度	12,680,467	11,198,290	1,482,177
(単位:円)			(単位:円)				

2 年度評価

評価区分	評価内容	令和6年度		判定	得点	判定	得点	判定	得点
		判定	得点						
(1)市民の視点【50点】	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	5							
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7							
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	7	34						
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	10							
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5							
(2)財務の視点【25点】	① 計画どおり収入が得られたか。	5							
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	5							
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	4	24						
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	5							
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	5							
(3)業務の視点【45点】	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3							
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3							
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	4							
	④ デジタル化への対応を行ったか。	5							
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	5	38						
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	4							
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4							
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	5							
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	5							
(4)人材の視点【20点】	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3							
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	4	15						
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4							
	④ 労働関係法令を遵守したか。	4							
総合得点(年度【140点満点】)			111						

3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	令和6年度	なし

4 中間評価及び所見

評価基準による中間評価	年度	年度評価点	施設所管課長 所見
	令和6年度	111	<p>成果目標としては、施設来館者数であることから、これまで行っていた出張絵付け体験(施設外での絵付け体験)を取り止め、来館者数の増加に努めた。これにより、来館者数は過去最高となり目標を達成した。</p> <p>また、イベントの回数の目標に関しては、10回に対して16回開催し目標を達成した。</p> <p>利用者満足度に関しては、苦情や要望は一切なく、満足度の向上に努めた。</p>
平均点	111		

☆評価基準

中間評価	評価基準
S 極めて優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が120点以上
A 優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が110点～119点
B+ 良好	全ての年度評価の獲得点数の平均が100点～109点
B 要一部改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が80点～99点
B- 要改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が70点～79点
C 不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が60点～69点
D 極めて不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が59点以下

5 選定委員会による中間評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。

中間評価	A	委員会所見	施設所管課長所見のとおり
------	----------	-------	--------------

指定管理者事業評価 中間評価調書

1 施設状況・事業収支

施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館		調書作成年度	令和7年度			
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		所管部課	経済部 商工観光課			
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)		利用料金	指定管理料			
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及を図るため。						
施設の概要	展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場						
主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和6年度				
	観覧者利用者数		3,508				
	絵付け体験者数		1,715				
委託料	指定管理料		9,630,000				
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
	令和6年度	414,680		令和6年度	12,159,924	14,542,986	△ 2,383,062
(単位:円)			(単位:円)				

2 年度評価

評価区分	評価内容	令和6年度							
		判定	得点	判定	得点	判定	得点	判定	得点
(1)市民の視点【50点】	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	5	29						
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5							
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	7							
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	7							
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	5							
(2)財務の視点【25点】	① 計画どおり収入が得られたか。	1	17						
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	4							
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	3							
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	5							
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	4							
(3)業務の視点【45点】	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	30						
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3							
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3							
	④ デジタル化への対応を行ったか。	4							
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3							
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3							
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4							
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3							
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4							
(4)人材の視点【20点】	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	12						
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3							
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3							
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3							
総合得点(年度【140点満点】)			88						

3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	令和6年度	自主事業の収入が計画比約60%であり、計画の甘さが見られる。 より実態に応じた計画を立案すること、また計画した事業を確実に実施することを求める。

4 中間評価及び所見

評価基準による中間評価	年度	年度評価点	施設所管課長 所見
	令和6年度	88	企画、イベント、展示、絵付け体験を多数実施し、土人形の普及に貢献した。 特に絵付け体験者数が昨年度より大きく増加する結果となった。 来場者の意見に応じた工夫や新たな取り組みも実施している。今後も新たな 取り組みと積極的な情報発信に期待する。 自主事業の収入について、計画と実績の差異が大きすぎるので、計画どおりの 収入を得られるよう改善を求める。
平均点	88		

☆評価基準

中間評価	評価基準
S 極めて優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が120点以上
A 優良	全ての年度評価の獲得点数の平均が110点～119点
B+ 良好	全ての年度評価の獲得点数の平均が100点～109点
B 要一部改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が80点～99点
B- 要改善	全ての年度評価の獲得点数の平均が70点～79点
C 不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が60点～69点
D 極めて不良	全ての年度評価の獲得点数の平均が59点以下

5 選定委員会による中間評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。

中間評価	B	委員会所見	施設所管課長所見のとおり
------	----------	-------	--------------